

1. ネガティブな情報に捉われてはいけない

ご承知のとおり、米国のトランプ大統領の言動に世界は振り回されています。国内では政府機関の一部が1ヵ月以上も閉鎖され、政府機能がマヒしていました。それも「メキシコ国境に壁を作る」と強硬姿勢を崩さなかったからです。

目を世界に向けてみると米国と中国との貿易戦争の余波が日本へも徐々に寄せてきました。最近の日本経済新聞の経済欄では企業の減益の話題が多く掲載されています。四半期毎の推移で段々と減益額(減益率)が膨らんでいます。3月1日を期限とする米中両国の貿易交渉は、双方の思惑も絡んで安易に妥結・合意することは難しそうです。

世界への目を欧州へ向けてみますと3月末に控えている英国のEU離脱問題、大混乱なくスムーズに行くのか疑問視されています。日本とEUとの間でEPAが発効しワインが安くなったと喜んでいますが、しかし、英国が離脱すると日本は英国との間で新たに自由貿易協定を締結しなければなりません。英国が自由貿易を推進するのであれば、日本以外にもEUも含めた全世界各国と貿易協定を締結しなければなりません。その間は関税がかかり貿易は停滞することは必然です。

中東では米国とイランの対立が際立ってきました。さらに米国とロシアは核軍縮を進めてきた軍事協定を双方とも破棄するに至っています。

ざっと書き綴っても日本経済や社会にプラスとなる材料が見つかりません。あるとすれば東京オリンピック、大阪万博そしてインバウンド需要の盛り上がり位でしょうか。

私たちは肯定的(正)な事象と否定的(負)な事象とに直面したとき、同じ程度で受け止めることはできないそうです。**否定的事象は肯定的事象より2倍の強さを持って受け止める**そうです。そして**深刻に考えて思考・行動停止となるか、また失地挽回をしようとして無謀な挑戦をするかのいずれかに落ちいます。**

メディアには注文を付けたいところです。負の情報ではなく正の情報を沢山報道しろと。私たちは自衛手段として、「**負の事象の中にわが社が活躍するチャンスはみいものか**」と**逆転の発想力を働かせてみる**しかないのかも知れません。

2. 有給休暇の強制取得義務化への備えは万全?

昨年6月に法制化された働き方改革関連法の新ルールが今年4月から5年間にわたって順次施行されていきます。

第一陣(!)は標題の通り有給休暇に関するものです。有給休暇の付与日数が10日以上の方社員に対し、5日以上の有給取得推進義務が企業に課せられました。但し、**社員が自ら進んで5日以上の有給を取得している場合や計画的付与を行っている場合は余計な心配はご無用**です。一部の例外はありますが、どんな形でも有給取得日数が年5日以上となれば、法令違反は発生しません。

なお、今回の改正では**企業に有給取得に係る管理簿の作成が義務付けられました。年休の付与日(基準日)、取得の月日(時季)、取得日数の3項目を企業は必ず管理**しなければなりません。それも個別の社員別にです。

管理簿の様式は特に定められていません。ネット等でも公開されています。それを利用しても良いです。なお、当職事務所でもご相談を受けることはできます。お気軽にお問合せ下さい。

3. 池江璃花子選手が白血病に!

日本女子水泳会のエース池江選手(18歳)が白血病の病に罹患と発表されました。昨年アジア大会(ジャカルタ)にて8種目に出場し6種目で金メダルを獲得。来年の東京オリンピックでの大活躍を期待していた私たちは、病魔との闘いに勝ち再びプールで躍動する姿を見たいものです。

紀元前4世紀に仏教を開いた仏陀は人には4つの苦しみがあると言いました。生・病・老・死の4つです。会社経営でも**生(創業)・病(業績悪化)・老(活力喪失)・死(事業閉鎖・破産)**の4つの苦しみを経営者は体験します。いや死(事業閉鎖・破産)はなくても**病(業績悪化)と老(活力喪失)の2苦しみに遭遇する可能性はとて高い**ものです。日頃から心して経営に当たりたいものです。

池江選手には、水泳選手としてではなく、1人の若者として再び私たちの眼前にその姿を現してもらいたいと切に願っています。皆さん、応援しましょう。(独り言:それにしても桜田大臣の発言、本当に情けない!五輪憲章も読んでいない大臣は即刻潔く辞任下さい!)